

# 第4章 Lesson 3

## 1. 準備と起動




### (1) キーボードの接続

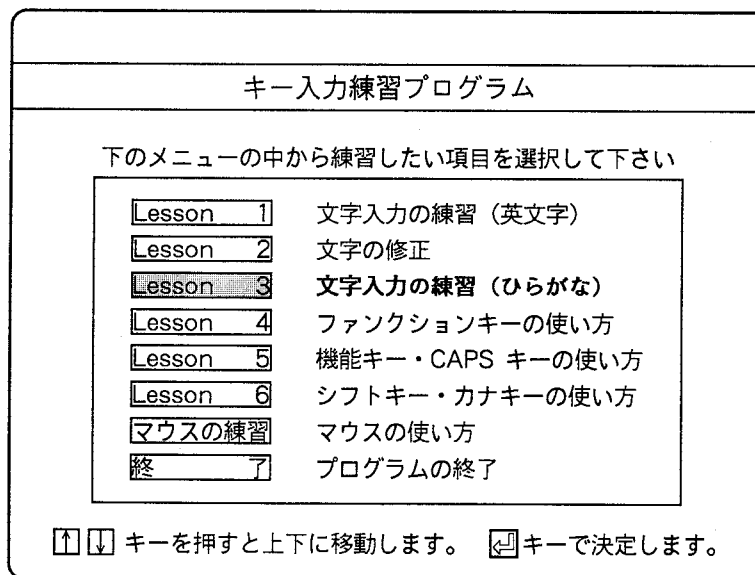
「Lesson 3」では簡易型キーボード#2をセットします。

### (2) キー入力練習ソフトの起動

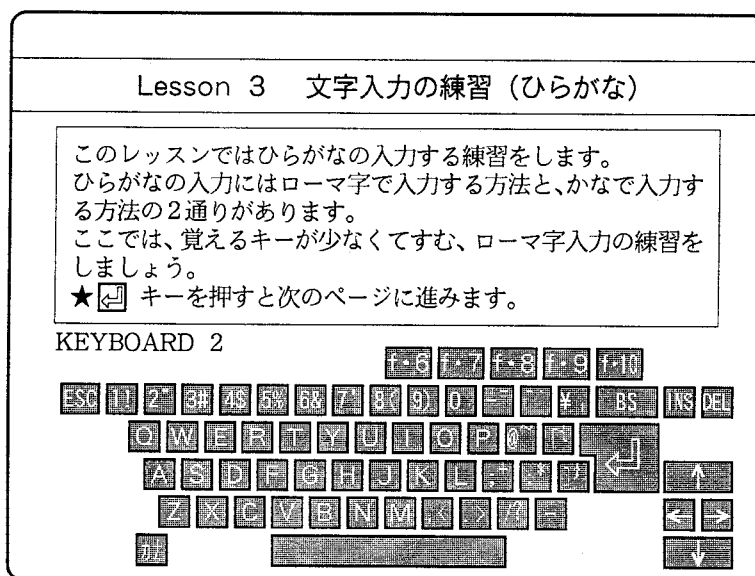
起動方法に従ってキー入力練習プログラムを起動します。

### (3) メニューの選択

メニュー画面より   キーで「Lesson 3」を選択し、 キーを押します。





「Lesson 3」の開始画面は、次のようになります。



## 2. 練習

「Lesson 3」では、ひらがなの入力、句読点の入力、漢字変換の練習を行います。

練習方法は、まず画面に表示されている説明文や指示文をよく読み、次に実際に入力や漢字変換の練習をします。

次の画面に進むときは、「キーを押すと次のページに進みます」という表示を確認して キーを押して下さい。

「Lesson 3」で練習する主な内容は次のとおりです。

### (1) ひらがなと句読点

ひらがなの入力にはローマ字で入力する方法と、かなで入力する方法がありますが、ここではローマ字で入力する方法で、ひらがなと句読点の入力の練習をします。

練習する例文は、次のとおりです。

①	きのうなごやにいきました。
②	がっこうへ、いった。

なお、例文の下の段にはローマ字が表示されていますので参考にして下さい。

### (2) 漢字変換

画面に例文が表示されますので、それに基づいて漢字変換の練習をします。

練習する例文は、次のとおりです。

①	私は、北海道へ行った。
②	恒星
③	母は、家事に追われている。
④	今日は天気がよい。
⑤	文章の校正をします。
⑥	明日歯医者に行きます。
⑦	すばらしい公演だった。

例文の①～③では、ひらがなで入力した文章を、文節ごとに漢字変換・確定する方法を練習し、例文の④～⑦では、文章中の同音異義語の漢字変換・確定の方法について練習します。

### (3) 入力練習

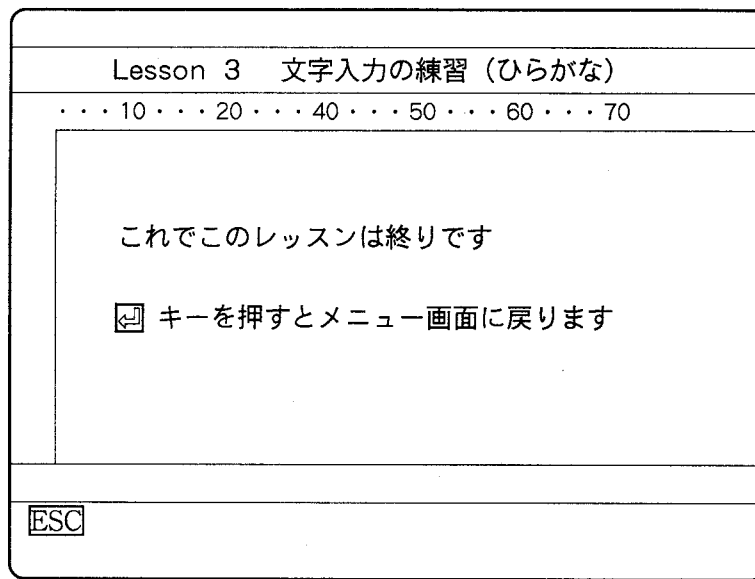
画面に例文が表示されますので、それに基づいて入力の練習をします。


練習する例文は、次のとおりです。

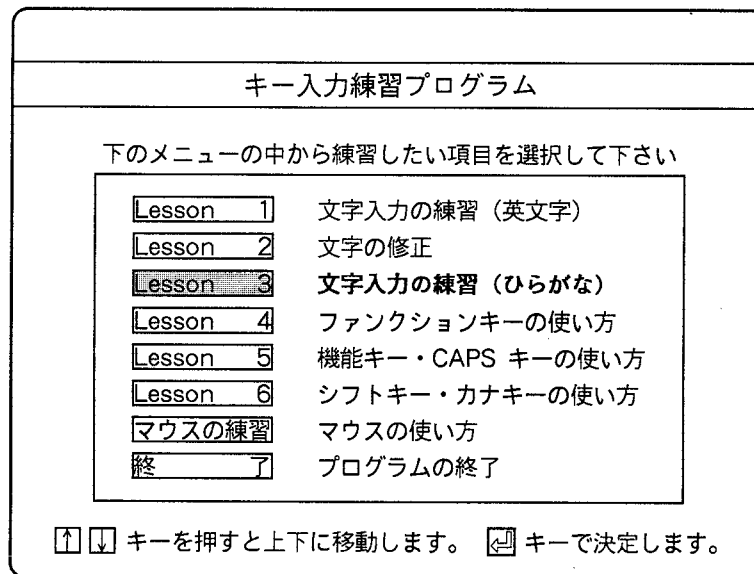
①	あいうえお かきくけこ さしすせそ たちつてと なにぬねの はひふへほ まみむめも や ゆ よ らりるれろ わ を ん なまむぎ なまごめ なまたまご
②	暑中お見舞い申し上げます。 平素は格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。 おかげさまで業務もきわめて順調で、社内一同、心から感謝いたして おります。このうえとも、いっそうのご尽力を賜りますよう、ひとえに お願い申し上げます。
③	請求の文書で最も多いのは、売買に対する金銭請求です。 この場合、帳票の請求書だけを送付しても十分に用件は達せませんが、 お買い上げに感謝するという文面の書状を添えるなら、支払う側も 気分よく支払えるというものです。 くどくどした感謝の言葉は必要ありませんが、丁重な文章が必要です。

### 3. 終了

「Lesson 3」の練習が全て終了すると、次のような画面になります。



 キーを押すとメニュー画面に戻ります。



これで「Lesson 3」は終了です。

